

令和二年を迎えて

石川県吹奏楽連盟理事長 田中一宏

令和二年を迎えました。今年はオリンピックイヤー、新しい世界に通じる年と感じております。

先般、全日本吹奏楽連盟では事務局長・事務局次長の1億5000万円の横領が発覚し、臨時総会が東京で行われました。全日本吹奏楽連盟のオフィシャルコメントがホームページ上で公開されていますが、中央の諸規定の改正、ガバナンス体制及び内部監査の強化等含む再発防止策を実施することを全日本吹奏楽連盟は約束しています。石川県吹奏楽連盟は、全日本吹奏楽連盟正会員として、全日本に対して新しい改革を強く訴えていきたいと思っております。また、地方から中央に対して、様々な部分で意見を上げていきたいと思っております。

さて、令和元年度より石川県吹奏楽連盟では、個人登録に踏み切りました。各種スポーツ協会においては、以前より個人登録が行われております。当連盟では全国に先駆けての実施となりました。当連盟には数名で構成するバンドから100名を超える部員数のバンドもあり、その規模はチームによってまちまちです。どのバンドからもその規模に応じて、個人登録費を徴収することでバンドによってその負担は異なります。大人数のバンドにとりましては負担増とはなりますが、少子化とともに、わずか数人で構成されたバンドも多数ございます。そのような少人数バンドを育成するために、この個人登録は、石川の吹奏楽界を支えるための資源として、必ずや石川の吹奏楽に携わるすべての皆様により良い活動ができるよう、有効に活用させていただくことをお約束させていただきます。また、これからは多くの企業などと連携をはかり、登録カードを提示することで、より多くのメリットを個人会員に還元できる場面を提供してゆきたいと思っております。

個人登録の開始に伴い、従来の加盟分担金の徴収は行いません。この改革によって、少人数グループ団体であっても個人登録を行うことが可能となり、従来、職場・一般団体の加盟には高い加盟分担金を納めていただいておりますが、より気軽に、連盟に加盟できることになり、加盟団体数の増加も見込めると確信いたしております。スクールバンドのみならず、大人の皆様にも当連盟の活動に参画できるようなイベントも実施したいと考えます。

来年度へ向け、更に個人及び法人に対して協賛会員制度を進めて参ります。当連盟の円滑な運営を図るとともに、更なる吹奏楽の普及と育成を推進するために、広く音楽ファンに協賛会員の募集をさせていただくことといたしました。詳細及び会員募集につきましてはホームページにて公開致しております。

末筆となりますが、多くのご意見をいただきながら、理事長として、前向きに邁進していく覚悟を示し、皆様には、ご協力をお願い申し上げます。